

## 1 子宮頸(けい)がんとは

子宮頸がんは、子宮の入口に近い部分にできるがんで、HPV(ヒトパピローウイルス)の感染が原因と考えられています。

日本では毎年約1.1万人の女性がかかる病気で、**20歳代の若い世代**から増え始めます。

早期に発見し、手術等の治療を受ければ多くの場合、治すことができる病気です。病状によって手術の方法は異なりますが、治療により子宮の一部を切除すると、妊娠したときに早産のリスクが高まったり、妊娠できなくなることがあります。

## 2 ヒトパピローウイルス(HPV)とは

ヒトパピローウイルスは、主に性的接触により感染するウイルスで、約200種類以上あります。

**女性の多くが一生涯に一度は感染する**と言われており、感染してもほとんどの人はウイルスが自然に消えますが、一部の人で、**がん**になってしまふことがあります。

## 3 ワクチンの効果について

定期的予防接種として無料で受けられる HPV ワクチンは**3種類**あります。

(2価、4価、9価 HPV ワクチン)

2価及び4価 HPV ワクチンは、子宮頸がんの50~70%の原因とされる HPV16型と18型に予防効果を持つワクチンです。

9価 HPV ワクチンは、子宮頸がんの80~90%の原因とされる HPV16型と18型に加え、他5種類の HPV の予防効果があります。また、4価及び9価 HPV ワクチンには尖圭コンジローマの原因となる2種類の HPV の予防効果もあります。

ワクチン接種により、感染予防効果を示す**抗体が12年維持される可能性**があるとの報告がありますが、持続効果は今も研究が続けられています。

## 4 ワクチンの副反応

### ●主な副反応

発生頻度	2価 サーバリックス®	4価 ガーダシル®	9価 シルガード®9
50%以上	疼痛・発赤・腫脹・疲労	疼痛	疼痛
10~50%未満	かゆみ、腹痛、筋痛・関節痛、頭痛など	紅斑、腫脹	腫脹、紅斑、頭痛
1~10%未満	じんましん、めまい、発熱など	頭痛、かゆみ、発熱	浮腫性めまい、悪心、下痢、かゆみ、発熱、疲労、内出血など
1%未満	知覚異常、感覚鈍麻、全身の脱力	下痢、腹痛、四肢痛、筋骨格硬直、硬結、出血、不快感、倦怠感など	おう吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血、血腫、倦怠感、硬結など
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	失神、おう吐、関節痛、筋肉痛、疲労など	感覚鈍麻、失神、四肢痛など

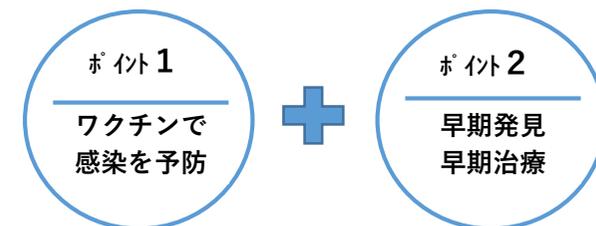
### ●重い副反応

病気の名前	主な症状	報告頻度※
アナフィラキシー	呼吸困難、じんましんなど	約96万接種に1回
ギラン・バレー症候群	両手・足の力の入りにくさなど	約430万接種に1回
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	頭痛、おう吐、意識低下など	約430万接種に1回
複合性局所疼痛症候群(CRPS)	外傷をきっかけとして生ずる慢性の痛み	約860万接種に1回

(※平成25年3月までの報告のうち、ワクチンとの関係が否定できないとされた報告頻度)

## 5 子宮頸がんの予防のために大切なこと

### HPV ワクチンと定期的ながん検診



ワクチンで全ての高リスク型 HPV の感染を防ぐことはできません。ワクチンを接種していても、していなくても、**20歳**になったら、子宮頸がんの早期発見・早期治療のため**2年に1回**、定期的に**子宮がん検診**を受けましょう。

旭川市では、高リスク型の HPV に感染しているかどうかを調べる**HPV検査**をがん検診と同時に受けることができます。

詳細は

## 6 ワクチンを受けるときの注意

痛みなどの頻度が高いワクチンですので、接種の痛みや緊張のために血管迷走神経反射が出現し、失神することがあります。ワクチン接種の後や、けがの後などに原因不明の痛みが続いたことがある方は、「機能性身体症状」が起こる可能性が高いと考えられます。

また、過去にけいれんの既往のある方や、薬剤の成分でアレルギーを呈するおそれのある方なども、接種を見合わせる必要があります。

いずれの場合も、健康状態や体質などを医師にしっかりと伝え、よく相談した上で接種を判断してください。

## 7 ワクチンに関するQ & A

### Q) ワクチン接種後の「多様な症状」とは？

A) HPVワクチン接種の後に、広い範囲に広がる痛みや手足の動かしにくさなど「多様な症状」が報告されました。

HPVワクチンの接種歴のない方でも、HPVワクチン接種後に報告されている症状と同じ「多様な症状」を有する方が一定数存在することが明らかとなっています。

様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。

### Q) なぜ接種を勧める取組が再開されたの？

A) 令和3年11月の専門家会議で、安全性について特別な心配は認められないことが確認され、接種の有効性が副反応のリスクを上回ると認められました。

このことから、本市でも令和4年4月から接種をお勧めする取組を再開することになりました。

ワクチンの成分は変わっていませんが、販売されるまでに厳しい審査を行うなど、安全性のチェックを国で行っています。

### Q) 接種の中止や延期はできますか？

A) ワクチンは合計3回（シルガード®9は、15歳未満の場合、合計2回）接種しますが、接種後に気になる症状が現れた場合、それ以降の接種を延期または中止することができます。

接種後に症状が出たときは、医師に相談してください。

## 8 相談窓口

### 北海道子宮頸がん予防ワクチン総合相談窓口

副反応による医療や生活の悩みに関すること

電話：011-206-0359

(北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課)

ワクチンに係る学校生活に関すること

電話：011-204-5752

(北海道教育庁学校教育局健康・体育課)

### HPV ワクチン接種後に生じた症状の 診療に係る協力医療機関

旭川医科大学病院

(地域医療連携室)

北海道大学病院

(HPV ワクチン副反応支援センター)

札幌医科大学附属病院

(リハビリテーション科)

### 旭川市保健所

健康推進課 保健予防係

電話：0166-25-9848

## 9 詳しい情報



HPV ワクチンに関する Q&A  
(厚生労働省)



各ワクチンの成分・製法や効果等  
(旭川市保健所)

HPV ワクチンを  
受ける前に  
知ってほしいこと

#子宮頸がん #HPV(ヒトパピローマウイルス)  
#小6～高1女性 #ワクチン #キャッチアップ接種  
#9価ワクチンが定期接種になりました

旭川市 HPV

検索

旭川市保健所